

**令和4年度 公契約条例の可否を含めた検討のための  
労働者賃金等の実態調査の結果概要**

**1 工事**

**(1) 調査概要**

- ア 調査時期 令和4年11月～令和5年1月
- イ 調査内容 調査対象工事に直接従事する労働者に対する令和4年11月、12月及び令和5年1月のいずれかの月での支払賃金等  
調査対象工事： 県土整備局発注工事  
支払賃金等： 調査対象工事の受注者（元請企業）及びその受注者と下請契約する受注者（下請企業）が支払う賃金
- ウ 調査方法 調査対象工事の受注者に対し、契約締結時に調査の協力を依頼（配布）し、後日調査票を回収し集計
- エ 回答件数 調査対象工事の受注者（元請）：195社  
回答事業者（元請及び下請）：134社  
回答労働者数（元請及び下請）：396人  
※調査対象工事の受注者数は、神奈川県発注工事の元請事業者数。  
※回答事業者及び労働者数には、元請企業が契約する下請企業を含む。

**(2) 調査結果概要**

- ア 労働者の平均賃金は、全ての職種において時給換算で1,700円以上の状況にあり、最も低かった職種でも、最低賃金法で定める最低賃金（神奈川県内の事業場で使用されている場合は1,071円）以上が確保されている。
- イ 最低賃金と最高賃金  
回答のあった17職種のうち、12職種で最高賃金と最低賃金の差が2倍以上となっている。
- ウ 年齢、経験年数による賃金の関係
- ① 年齢と賃金の関係  
10代、70代の労働者の賃金が低く、30代、40代の労働者の賃金に高い傾向が見られる。
- ② 経験年数と賃金の関係  
平均賃金で比較すると、特殊作業員や法面工、土木一般世話役のように経験年数10年以下で高い賃金が支払われている職種もあるが、全体としては経験年数10年を超える労働者に高い賃金が支払われる傾向が見られる。
- エ 雇用形態と賃金の関係  
平均賃金を常勤と日雇い（非常勤含む）で比較すると、比較できた8職種中、普通作業員、軽作業員、土木一般世話役、防水工の4職種において日雇いの方が常勤労働者より平均賃金が高く、それ以外の4職種では、常勤労働者の方が日雇い労働者より支払賃金が高い傾向が見られた。
- オ 元請、下請の賃金の関係  
平均賃金を元請と下請で比較すると、比較できた12職種中、普通作業員、軽作業員、法面工、とび工、橋りょう塗装工、高級船員、普通船員の7職種において下請の方が元請より平均賃金が高く、元請と下請で支払賃金の大きな差はみられなかった。

## カ 設計労務単価との関係

平均賃金と労務単価を比較すると、とび工、防水工を除いた15職種で、設計労務単価の7割以上の賃金が支払われている。軽作業員、法面工、土木一般世話役、普通船員、配管工、交通誘導警備員Bについては、設計労務単価の9割以上の賃金が支払われている。

## 2 一般業務委託

### (1) 調査概要

ア 調査時期	令和4年11月～12月
イ 調査内容	対象契約に直接従事する労働者に対する令和4年11月又は12月の支払賃金 対象契約： 県発注の一般業務委託契約のうち、最低制限価格を設定し、令和4年度12月末現在で契約締結している404契約（155事業者） （庁舎清掃179、総合建物管理17、建物設備保守管理64、警備・受付59、消防施設保守管理8、電気通信設備保守管理57、エレベーター保守管理15、汚水処理施設等保守管理5、計404契約）
ウ 調査方法	対象契約締結事業者に対し、書面により調査協力を依頼し、回答を集計
エ 回答件数	調査対象事業者 : 155業者（前年：161業者） 回答事業者 : 127業者（前年：132業者） 回答労働者数 : 1,077人（前年：1,003人） 回答契約数 : 299契約（前年：290契約）

### (2) 調査結果概要

#### ア 年代構成

労働者の年代構成については、庁舎清掃、警備及びボイラー保守・運転は70歳代が最も多く、これらの職種は、60歳代以上が全体の70%を超えている。一方、消防施設保守管理、エレベーター保守管理については、40歳代以下が大半を占める。なお、対象労働者全体のうち59.0%が60歳代以上である。

#### イ 経験年数

経験年数については、消防施設保守管理、電気設備保守・運転、エレベーター保守管理は平均で10年を超えている。一方、庁舎清掃、警備、受付・案内、電話交換については、平均で5年以下である。

#### ウ 就業形態

就業形態は、全体としてはパートタイムの割合が対象労働者全体の54.8%と半数を超えており、職種別では、庁舎清掃が81.9%、ボイラー保守・運転が58.8%、受付・案内が70.5%、電話交換は100%とパートタイムの割合が比較的高い。

なお、消防施設保守管理、電気設備保守・運転については、正社員の割合が高く、パートタイムの割合が比較的低い。

#### エ 支払賃金の状況

支払賃金の単価（時給換算）は、平均で庁舎清掃が1,116円、警備が1,229円、ボイラー保守・運転は1,184円、空調機保守・運転は1,671円、消防施設保守管理は2,630円、電気設備保守・運転は1,922円、エレベーター保守管理は1,986円、受付・案内が1,201円、電話交換が1,091円

であった。

なお、最低賃金未満の実態はなかったが、最低賃金と同額(1,071円)の労働者が、庁舎清掃で359人中181人(50.4%)、警備で210人中61人(29.0%)、電話交換で18人中15人(83.3%)確認された。

#### オ 職種別賃金分布の状況

##### ① 庁舎清掃

庁舎清掃では、1,080円未満が54.3%(195人)で、そのうち1,072円以上1,080円未満が3.9%(14人)、最低賃金と同額の1,071円が50.4%(181人)であった。

また、1,080円以上1,100円未満は8.9%(32人)、1,100円以上は36.7%(132人)であった。

##### ② 警備

警備では、1,080円未満が32.9%(69人)で、そのうち1,072円以上1,080円未満が3.8%(8人)、最低賃金と同額の1,071円が29.0%(61人)であった。

また、1,080円以上1,100円未満は2.4%(5人)、1,100円以上は64.8%(136人)であった。

##### ③ ボイラー保守・運転

ボイラー保守・運転では、最低賃金と同額の1,071円が35.3%(6人)、1,080円以上1,100円未満は5.9%(1人)、1,100円以上は58.8%(10人)であった。

##### ④ 空調機保守・運転

空調機保守・運転では、最低賃金と同額の1,071円が3.7%(3人)で、1,080円以上1,100円未満は1.2%(1人)、1,100円以上は95.1%(77人)であった。特に、1,500円以上が50.6%(41人)と半数を超えた。

##### ⑤ 消防施設保守管理

消防施設保守管理では、全員1,100円以上であった。特に、1,500円以上が90.6%(58人)と多数を占めた。

##### ⑥ 電気設備保守・運転

電気設備保守・運転では、最低賃金と同額の1,071円が0.8%(1人)、1,080円以上1,100円未満は0.8%(1人)、1,100円以上は98.4%(125人)であった。特に、1,500円以上が59.1%(75人)と半数を超えた。

##### ⑦ エレベーター保守管理

エレベーター保守管理では、全員が1,100円以上であった。特に、1,500円以上が91.7%(11人)と多数を占めた。

##### ⑧ 受付・案内

受付・案内では1,080円未満が19.9%(29人)で、そのうち1,072円以上1,080円未満が4.1%(6人)、最低賃金と同額の1,071円が15.8%(23人)であった。

また、1,080円以上1,100円未満は38.4%(56人)、1,100円以上は41.8%(61人)であった。

##### ⑨ 電話交換

電話交換では、最低賃金と同額の 1,071 円が 83.3% (15 人)、1,100 円以上は 16.7% (3 人) であった。

カ 地域別支払賃金の状況

地域別では、職種ごとに顕著な賃金格差は確認されなかった。